土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　その他河川天地川支川１　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　橋梁・高架

ボーリング名	支川1-5-No.6	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦4丁目	北緯	34° 18′ 30.6200″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	2020／12／11～2020／12／12	東経	132° 30′ 40.8500″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 60.19m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	8.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D型
					エンジン：ヤンマー TF-90M　ポンプ：東邦製BG-3C型

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	58.79	1.40		礫混じり砂		濃茶～茶褐			中～細砂主体。礫はφ2～5mmの亜角礫が主体で，所々φ10～20mmの花崗岩礫が混じる。表層は植物片混入する。	12/11 2.10
2	58.19	2.00		玉石		淡灰			L=60cmの花崗岩玉石。硬質で，ハンマー軽打により金属音を発する。	
3	56.74	3.45		礫混じり砂		褐灰	rd2		中～細砂主体。礫はφ2～10mm程度のものが主体で，一部φ30～40mm程度の花崗岩礫が混在する。	
	56.44	3.75		砂		茶褐			細砂主体で中砂を含む。	
4	55.94	4.25		玉石混じり砂礫		淡灰褐 茶褐			L=8cmの花崗岩玉石を含む。礫はφ2～5mmのものが主体で，GL-4m付近に最大φ50mmの花崗岩礫を混入する。	
5				花崗岩		淡灰褐			CL～CM級花崗岩。GL-5.2mまでは岩級区分CL級を呈し，ハンマー打撃により破砕する。GL-5.2m以深は短柱状～柱状コアで採取され，岩級区分CM級を呈する。亀裂間隔は3～15cm程度。	
6										
7										
8	52.19	8.00								
9										
10										
11										
12										
13										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.15	9	26	15	50 / 250	250	
	1.40			50			
8	2.35	2	2	4	8 / 300		
	2.65						
24	3.15	10	7	7	24 / 300		
	3.45						
50以上	4.15	50			50 / 100	100	
	4.25						
50以上	5.00	貫入不能			50 / 0	0	
50以上	6.00	貫入不能			50 / 0	0	
50以上	7.00	貫入不能			50 / 0	0	
50以上	8.00	貫入不能			50 / 0	0	

試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.15	P-6-1	⊖	粒度	
1.40				
2.35	P-6-2	⊖	粒度	
2.65				
3.15	P-6-3	⊖	粒度	
3.45				
4.15	P-6-4	⊖	粒度	
4.25				
				12/11
				12/12